



本日はよくお参り下さいました

年が明けて早くもひと月がたちました。今年
は例年よりも早く梅が咲き大学入試センター
試験の前日には雪が降りました。寒い日々が
続きましたが、1月31日現在、小春日和と
言われるほど暖かい穏やかな
気候となっています。天神社
のお正月は今年も大変賑やか
でした。みなさんはどんなお
願い事をされましたか。何度



かこのコラムでも紹介していますが、天神さ
まの歌「心だに 誠の道に叶ひなば 祈らず
とても神やまもらむ」という歌は日本人のあ
るべき姿を映しているようにおもいます。見
返りを求めずに、ただ善い行いを積み重ねて
いくことが、世の中を良くしていく第一歩な
のではないかと思います。今月も皆さまの、
ご多幸をお祈り申し上げます。権禰宜 道子

2月

1日・15日 月次祭(つきなみさい) 皇室の弥栄と国
家安泰、氏子崇敬者並に社会の幸福と平和を祈る。

3日 節分祭 旧暦では立春が年の始まりにあた
ったことから、この節目が

特に重要視されていたの
です。節分には、災厄や
邪気を払う行事が行われ
ますが、その代表的なも
が「豆まき」です。

鬼やらい



4日 立春 旧暦における一年のはじまり。

11日 建国記念日 神武天皇が橿原の地(奈良県
橿原神宮)で初代天皇に御即位された日を祝い、
我が国の平安と発展を祈ります。

17日 祈念祭 祈年祭は「としごいの祭」とも
云われ、その年の五穀 豊穰を祈る祭です。今日
では農業のみならず、商業、工業などあらゆる産
業の繁栄を祈る祭として斎行されています。

18日 雨水 農作業を始める目安となる日。三寒
四温を繰り返しながら春にむかってゆきます。

天神さまの豆知識

― 神社とお寺について ―

「神道と仏教は、それぞれ別の思想
体系をもつ宗教であり、本来神道を
熱心に信仰する人には仏教の教えは
認められないだろうし、その逆に仏
教徒は神道を信仰できないはずであ
る。じつさい、日本以外の国の仏教
徒は、仏教のみを信仰している。と
ころが、日本では、固有の宗教であ
る神道が、おほかたというか、幅広
い許容力を持っていたため、共存が
可能になった。さらに、「神仏習合」
という言葉があるように、かなりの
部分で混ざり合っ
てきた。寺院の敷地内で
神道の鳥居を見かけ
るのは珍しいこと
ではないし、後白河法皇
のように「出家」した
天皇も少なくない。天
皇は、神道の神である天照大御神の
子孫であるが、同時に仏教徒だった
天皇は少なくない。庶民が仏教と神
道をはっきりとした区別をつけずに
信仰してきたのも無理はない。」この
文章には続きがありますが、またの
機会にご紹介させて頂きたいと思
います。参考文献『知っておきたい日
本の三大宗教』河出書房発行



神社?



お寺?

お祭り歳時記

初午祭 二月十二日

2月の初午の日は

お稲荷さんの日です。

2月の初午の日に、

うかのみたまのかみ」

という神様(通称お稲

荷さま)が、山城国紀

伊郡(やましろのくにきいのこおり)の三

ヶ峰に降りてこられたことがいわれです。

お稲荷さんは衣食住の神さまであり、繁栄

の象徴とも言われています。会社や、一族

を守る神様として、お稲荷さんのお社があ
る会社やご家庭は多くあります。



今月の言葉

『人をもてあそべば

徳をうしない、

物をもてあそべば

志をうしなう』

書経(しよけい)

人をもてあそぶとは、相手の人を
好い加減に取り扱うことである。

或いは人を馬鹿にしたり、人を
ごまかしたり、人を陥れるような
ことをすることである。そのような

人は正常な心掛けの人とは言
えない。人も物もいい加減にあつ
か

っては自分をないがしろにする
のと同じである。参考文献『続神道

百言』岡田米夫著 神道文化会発行